

2018年 9月11日

京成電鉄株式会社

「人と環境に優しい鉄道」を目指して 今年度も新造車両を投入します

- ・3039編成 9月11日(火) 営業運転開始
- ・3040編成 9月27日(木) 営業運転開始予定

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、新造車両である3039編成(6両)の営業運転を9月11日(火)より開始しました。

この車両は「人と環境に優しい鉄道」をコンセプトに、2003年から導入している省エネタイプの3000形車両です。昨年度に引き続き、4か国語(日・英・中・韓)でのご案内が可能な17インチLCD(液晶)の車内案内表示器を導入するほか、車椅子スペース(1編成あたり2か所)や紫外線を遮るUVカットガラスを採用しています。

なお、3040編成(6両)は9月27日(木)に営業運転を開始する予定です。



LCD(液晶)車内案内表示器

以上